

日整連第6-434号
令和7年2月17日

公益社団法人全日本トラック協会
会長 坂本 克己 殿

一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会
会長 喜谷 辰夫



定期点検整備促進運動の実施等について

拝啓、時下、貴会・貴連盟ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記運動を別添1の「定期点検整備促進対策要綱」に基づき、国土交通省及び警察庁等関係行政省庁のご指導のもとに引き続き令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間実施することになりましたのでお知らせ致します。

また、本運動の促進対策の一環として使用される自動車の前面ガラスに貼付する点検整備済みステッカーが、別添2のとおり国土交通大臣より指定されたことを併せてお知らせ致します。

なお、9年用点検整備済みステッカーより「事業者が前面ガラスに貼付する期間」及び「当該自動車の前面ガラスに貼付しておいてよい期間」について、令和7年4月より施行される「継続検査の受検可能期間の拡大」において、残存する自動車検査証の有効期間を失うことなく継続検査が受検可能な期間の起算日が全国一律に「二か月前」となることから、次回の車検時期と定期点検時期を一致させることができるよう始期を一か月早めることとしております。

敬具

<本件の問合せ：日整連・事業部 與戸、遠藤>

定期点検整備促進対策要綱

1. 目的

自動車の適正な点検・整備を通じて、自動車の安全を確保し、公害の防止及び環境の保全を図るため、本要綱により定期点検整備の実施の普及および促進を図る。

なお、本運動は、自動車点検整備推進運動と連携して実施するものとする。

2. 実施期間

令和7年4月1日より令和8年3月31日までとする。

なお、次年度においても、本取組を継続して実施する予定。

3. 普及・促進対策

- 1) 自動車使用者に対する保守管理意識高揚のためのPR
- 2) 自動車使用者に対する自動車の構造および点検・整備に関する知識の向上促進
- 3) 自動車整備事業者等における点検・整備にかかわる受入体制の充実促進
- 4) 点検整備済ステッカー（以下「ステッカー」という。）の貼付

4. 実施要領

- 1) 自動車使用者に対するPR
自動車使用者に対し、定期点検整備の必要性とその励行について、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等マスメディアの活用とポスター、チラシ等の配布及びホームページによりPRする。
また、日整連等は、マイカー点検キャンペーン等の各種イベントを開催し、のぼり・横断幕を使用して、自動車の使用者に対し点検・整備の重要性を啓蒙する。
- 2) 自動車使用者に対する自動車の構造および点検・整備に関する知識の向上促進
自動車使用者に対し、自動車の構造、点検・整備の知識、認識の向上を図るため実車等を使用した点検教室等を開催する。
- 3) 自動車整備事業者等における点検・整備にかかわる受入体制の充実促進
自動車整備事業者等は、自動車使用者に対して定期点検整備の実施時期をダイレクトメール、電話、訪問等により連絡するとともに、点検・整備時に整備内容、料金等の説明を十分に行い、自動車使用者が整備事業場等を利用しやすいようにする。
また、日整連等は、整備技能コンクール等を開催し、自動車整備事業者等の接客マナーおよび技能の向上等受入体制の向上を図る。

- (3) ステッカーの剥離
 - (イ) 次回の定期点検整備時期を経過したステッカーは必ず剥がすこと。
また、その旨を自動車使用者等に周知徹底すること。
 - (ロ) 貼付しておける期間を経過したステッカーをそのまま貼付していると保安基準違反となることを自動車使用者等に周知徹底すること。
- (4) ステッカーの様式
ステッカーの様式は、別紙のとおりとする。
- (5) ステッカーの管理
各ステッカー取扱い団体および事業者は、配付台帳を備え、厳正な管理を行う。
なお、不適正な管理を行った場合にはステッカーの配付を停止することができるものとする。
- (6) ステッカーの再交付
自動車ユーザーから、フロントガラスの破損等により、ステッカーの再交付を求められた場合は、当該自動車の定期点検整備を実施した事業場に限り、上記(2)(ホ)の期間内において再交付することができるものとする。

5. 定期点検整備促進協議会の構成

- 1) 定期点検整備促進協議会は、下記の中央団体をもって構成し、一般社団法人日本自動車整備振興会連合会をもって代表団体とする。
 - 一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会
 - 一般社団法人 日本自動車工業会
 - 一般社団法人 日本自動車販売協会連合会
 - 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会
 - 一般社団法人 日本自動車連盟
 - 一般社団法人 全国自家用自動車協会
 - 公益社団法人 日本バス協会
 - 公益社団法人 全日本トラック協会
 - 一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会
 - 一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会
- 2) 地方の定期点検整備促進協議会は、中央に準じた構成とし、自動車整備振興会をもって代表団体とする。

6. 定期点検整備促進協議会の事務局

- 1) 中央の事務局は、一般社団法人日本自動車整備振興会連合会とし、地方は各都道府県自動車整備振興会とする。
- 2) 事務局は、次の業務を行う。
 - (1) 定期点検整備促進協議会の開催
 - (2) ステッカーの発行（中央に限る）および配付
 - (3) その他本要綱の実施のために必要な業務

別紙

点検整備済ステッカーの様式 例

〈注〉

- (1) 自家用、事業用を共通の様式とする。
- (2) 車内より貼付することができるものとする。
- (3) 地色（外周ダイヤル部分）は、令和7年用は緑色、令和8年用は橙色、令和9年用は青色とする。
- (4) 偽造の困難な様式とする。
- (5) 管理用に一連番号を入れる。



点検整備実施事業場

実施
年月日

住所
記号

実施
事業場

次回の定期点検は 次の期日までに行ってください

9	年	月	日
---	---	---	---

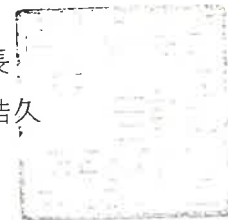
期日を過ぎると、点検整備が義務づけられます。
点検整備は、国土交通省・警察庁の定める基準に基づき、
国土交通省・警察庁の定める基準に基づき、
国土交通省・警察庁の定める基準に基づき、
A 000000

国自基第148号
令和7年2月6日

定期点検整備促進協議会代表

一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会
会長 喜谷 辰夫 殿

国土交通省物流・自動車局長
鶴田 浩久



自動車の前面ガラスへ貼付するステッカーの指定について

標記について、道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）第29条第4項第7号の規定に基づき、下記により国土交通大臣の指定が行われたので通知します。

記

1. 指定物件

普通自動車、小型自動車（二輪自動車を除く。）、軽自動車（二輪自動車を除く。）及び大型特殊自動車に貼付する令和9年用点検整備済ステッカー

2. 貼付位置

車室内から見て、前面ガラス左側上部（ただし、左ハンドル車にあっては右側上部）の位置に1枚

この場合において、ステッカーの認識が困難となる場合は、可能な限り上部とすることとして、認識が可能となる位置まで下方にずらすことを可とする。

3. 貼付期間

令和7年11月1日から令和10年1月31日

4. 貼付するステッカー様式

別紙2のとおり

5. 管理要領

別紙1及び別紙3のとおり

定期点検整備促進対策要綱

1. 目的

自動車の適正な点検・整備を通じて、自動車の安全を確保し、公害の防止及び環境の保全を図るため、本要綱により定期点検整備の実施の普及および促進を図る。

なお、本運動は、自動車点検整備推進運動と連携して実施するものとする。

2. 実施期間

令和7年4月1日より令和8年3月31日までとする。

なお、次年度においても、本取組を継続して実施する予定。

3. 普及・促進対策

- 1) 自動車使用者に対する保守管理意識高揚のためのPR
- 2) 自動車使用者に対する自動車の構造および点検・整備に関する知識の向上促進
- 3) 自動車整備事業者等における点検・整備にかかわる受入体制の充実促進
- 4) 点検整備済ステッカー（以下「ステッカー」という。）の貼付

4. 実施要領

- 1) 自動車使用者に対するPR

自動車使用者に対し、定期点検整備の必要性とその励行について、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等マスメディアの活用とポスター、チラシ等の配布及びホームページによりPRする。

また、日整連等は、マイカー点検キャンペーン等の各種イベントを開催し、のぼり・横断幕を使用して、自動車の使用者に対し点検・整備の重要性を啓蒙する。

- 2) 自動車使用者に対する自動車の構造および点検・整備に関する知識の向上促進

自動車使用者に対し、自動車の構造、点検・整備の知識、認識の向上を図るため実車等を使用した点検教室等を開催する。

- 3) 自動車整備事業者等における点検・整備にかかわる受入体制の充実促進

自動車整備事業者等は、自動車使用者に対して定期点検整備の実施時期をダイレクトメール、電話、訪問等により連絡するとともに、点検・整備時に整備内容、料金等の説明を十分に行い、自動車使用者が整備事業場等を利用しやすいようにする。

また、日整連等は、整備技能コンクール等を開催し、自動車整備事業者等の接客マナーおよび技能の向上等受入体制の向上を図る。

(3) ステッカーの剥離

- (イ) 次回の定期点検整備時期を経過したステッカーは必ず剥がすこと。
また、その旨を自動車使用者等に周知徹底すること。
- (ロ) 貼付しておける期間を経過したステッカーをそのまま貼付していると保安基準違反となることを自動車使用者等に周知徹底すること。

(4) ステッカーの様式

ステッカーの様式は、別紙のとおりとする。

(5) ステッカーの管理

各ステッカー取扱い団体および事業者は、配付台帳を備え、厳正な管理を行う。

なお、不適正な管理を行った場合にはステッカーの配付を停止することができるものとする。

(6) ステッカーの再交付

自動車ユーザーから、フロントガラスの破損等により、ステッカーの再交付を求められた場合は、当該自動車の定期点検整備を実施した事業場に限り、上記(2)(ホ)の期間内において再交付することができるものとする。

5. 定期点検整備促進協議会の構成

- 1) 定期点検整備促進協議会は、下記の中央団体をもって構成し、^{社団法人}日本自動車整備振興会連合会をもって代表団体とする。

- 一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会
- 一般社団法人 日本自動車工業会
- 一般社団法人 日本自動車販売協会連合会
- 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会
- 一般社団法人 日本自動車連盟
- 一般社団法人 全国自家用自動車協会
- 公益社団法人 日本バス協会
- 公益社団法人 全日本トラック協会
- 一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会
- 一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会

- 2) 地方の定期点検整備促進協議会は、中央に準じた構成とし、自動車整備振興会をもって代表団体とする。

6. 定期点検整備促進協議会の事務局

- 1) 中央の事務局は、^{社団法人}日本自動車整備振興会連合会とし、地方は各都道府県自動車整備振興会とする。

- 2) 事務局は、次の業務を行う。

- (1) 定期点検整備促進協議会の開催
- (2) ステッカーの発行（中央に限る）および配付
- (3) その他本要綱の実施のために必要な業務

別紙系氏

点検整備済ステッカーの様式 例

〈注〉

- (1) 自家用、事業用を共通の様式とする。
- (2) 車内より貼付することができるものとする。
- (3) 地色（外周ダイヤル部分）は、令和7年用は緑色、令和8年用は橙色、令和9年用は青色とする。
- (4) 偽造の困難な様式とする。
- (5) 管理用に一連番号を入れる。



点検整備実施車庫場

実施年月日 _____

認定番号 _____

実施場所 _____

次回の定期点検は、次の期日までに行ってください。

9	年	月	日
---	---	---	---

期日を過ぎたステッカーは必ずはずしてください。
貼付されたステッカーは、必ず点検整備済であることを確認してください。
ステッカーが破損した場合は、必ず点検整備済であることを確認してください。
ステッカーが破損した場合は、必ず点検整備済であることを確認してください。
ステッカーが破損した場合は、必ず点検整備済であることを確認してください。

A 000000

点検整備済ステッカー（令和9年用）の仕様及び様式等

○図柄（例）及び寸法は次の通り。



○事業者が前面ガラスに貼付できる期間

- ① 自家用乗用車 令和7年11月1日～令和8年12月31日
- ② 自家用貨物車 令和8年 6月1日～令和9年 6月30日
- ③ 事業用自動車 令和8年 9月1日～令和9年 9月30日

○前面ガラスに貼付してよい期間

- ① 自家用乗用車 令和7年11月1日～令和10年1月31日
- ② 自家用貨物車 令和8年 6月1日～令和10年1月31日
- ③ 事業用自動車 令和8年 9月1日～令和10年1月31日

定期点検整備促進対策の目的及び使用するステッカーの取扱いについて

1. 目的

定期点検整備の普及と実施の徹底を図り、車両の安全を確保するとともに、排出ガス防止対策を促進する。

2. 対象車両

普通自動車、小型自動車（二輪車を除く）、軽自動車（二輪車を除く）及び大型特殊自動車。

3. 貼付者

自動車整備事業者、新車販売事業者及び特定給油所等。

4. 貼付方法

車室内より見て前面ガラス左側上部（但し、左ハンドル車にあっては右側上部）で運転者の視野を妨げず、また検査標章の貼付を妨げない位置に1枚を次回点検月を残して貼付する。

この場合において、ステッカーの認識が困難となるときは、可能な限り上部とすることとして、認識が可能となる位置まで下方にずらすことを可とする。

5. はく離者

自動車使用者（または所有者）及び3項に掲げる者。

6. はく離方法

手等ではく離する。

7. 運行経路

対象車両が全国的に散在した車両であるため、特に定めた経路はない。